

令和元年10月～令和2年3月調査期間

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1	0	2	
	3 生活空間は、 <u>本人にわかりやすく構造化された環境*1</u> になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	0	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	5	1	0	0	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2	0	0	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1	0	0	
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	4	1	0	1	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	2	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5	1	0	0	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	2	1	0	3	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6	0	0	0	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	0	1	0	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	3	2	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	1	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1	0	0	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1	0	3	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4	0	0	2	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	0	1	2	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		0	1	5	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4	2	0	0	とても楽しめます。COLOR利用から友達とのやり取りが少しずつ上手になり感謝しています。
	23	事業所の支援に満足しているか	5	1	0	0	とても大満足です。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

2019年度 令和元年10月～令和2年3月評価期間

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	2	0	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5	1	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4	2	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	5	1	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2	1	
	14	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1	4	1	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	4	1	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	3	3	0	通所サービスが訓練プログラムなので仕方がないと思うのですが、遊びが少ないとつぶやいていました。
	18	事業所の支援に満足しているか	4	2	0	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

2019年度 令和元年10月～令和2年3月評価期間

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	適切なスペース確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	基準を満たしているが、状況により人員が少ないと感ずることがある為、必要に応じて人員確保や工夫が必要
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	構造化された環境になっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	掃除を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	業務終わりに振り返りを行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	5	・初年度につき、保護者等から評価は今後把握する ・イベント等があった際はアンケートを実施している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	5	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	外部評価は行っていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	・新型コロナウイルスの為、現在行っていない ・研修の機会を設けている
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	児発管が1人ひとりに合った計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	アセスメントシートを活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	・話し合いながら行っている。 ・スタッフ間で話し合いながらプログラムの検討を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	大きくプログラムの内容は変えずに行っているが、必要に応じて活動の内容を変更し支援している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6	0	児発管が個別活動と集団活動を適宜組み合わせ一人ひとりに合った計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	・支援を確認し、支援を行っている。 ・職員間で集まって打ち合わせは出来ていないが、支援内容を把握し、役割分担を行いながら取り組んでいる。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	・支援後、必ず振り返りを行っている。 ・支援の状況や時間の都合上、集まったの打ち合わせは出来ていないが、支援の振り返りを行い情報共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	日々利用児の個別会議記録、支援の内容等記入し検証・改善に繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	児発管が定期的にモニタリングを実施している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	管理者・児発管が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	4	医療的ケアや重症心身障害のある子どもは現時点ではない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	4	医療的ケアや重症心身障害のある子どもは現時点ではない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	4	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	6	現時点では活動の機会がない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	5	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	連絡帳や送迎の際に状況を伝えるよう心掛けている。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談があった際は、助言と支援を行っている。 ・親子療育を取り入れている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	管理者が契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携はあまりない ・イベント等で親子療育を取り入れた際には、保護者同士話せる気かを設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	・電話連絡等行い対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	・イベントを予定している場合は事前にお便り等で発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	鍵付きの棚に保管し、十分注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	開所前はあったが、現在は行われていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	・マニュアルは十分ではない為、作成し周知していく必要がある。商簿避難訓練を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	消防避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	・現在、食物アレルギーのある利用時はいないが、保護者からの聞き取りを行い、対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	ヒヤリハットがあった場合は、記録し情報共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	4	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	5	保護者に対して、契約時に身体拘束についての説明を行っている。

2019年度 令和元年10月～令和2年3月評価期間

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	適切なスペース確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	基準を満たしているが、状況により人員が少ないと感じることがある為、必要に応じて人員確保や工夫が必要
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0	十分ではない為、必要に応じて設備の検討を行う。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2	0	業務終わりに振り返りを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	5	0	・初年度につき、今年度が初の実施。 ・アンケートを実施している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	1	5	初年度につき、これから公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	5	外部評価は行えていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	勉強会や研修に参加している
適切 な ま	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	児発管が1人ひとりに合った計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	アセスメントシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	・スタッフ間で話し合いながらプログラムの検討を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	・固定している部分もあるが、プログラムの内容を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	・状況に応じてプログラムを変更し活動を提供している。休日、長期休暇には外出活動等取り入れている。

へ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	児発管が個別活動と集団活動を適宜組み合わせ一人ひとりに合った計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	4	0	・職員間で集まって打ち合わせは出来ていないが、支援内容を把握し、役割分担を行いながら取り組んでいる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	1	・振り返りについては、毎回行っている。 ・支援の状況や時間の関係上、集まった打ち合わせはできないが、支援の振り返りを行い、情報を共有している。振り返りを行う時間がない場合は、翌日記録している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	日々利用児の個別会議記録、支援の内容等記入し検証・改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	児発管が定期的にモニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	3	0	複数の活動を組み合わせ支援している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	学校や保護者と連携を取り、情報共有している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	医療的なケアが必要な場合は、連絡体制を整えていく必要がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	2	2	学校を卒業した対象者がまだいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	適宜専門機関と連携を行っている助言や研修も受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	6	現時点では、活動の機会がない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	1	5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0	連絡帳や送迎の際に状況を伝えるよう心掛けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	1	・保護者からの相談があった際は、助言と支援を行っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	管理者が契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	相談があった場合は、その都度助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	5	・保護者同士の連携はあまりない ・父母の会、保護者会は実施していないがイベントがある時等は親子療育を取り入れたりしている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	苦情や要望があった場合は迅速かつ適切に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・イベントを予定している場合は事前にお便り等で発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	鍵付きの棚に保管し、十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	配慮しながら業務に取り組んでいる
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	5	・地域住民を招待する行事は行っていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1	・マニュアルは十分ではない為、作成し周知していく必要がある。商簿避難訓練を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	消防避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	5	1	保護者に対して、契約時に身体拘束についての説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	0	・現在、食物アレルギーのある利用時はいないが、保護者からの聞き取りを行い、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	1	ヒヤリハットがあった場合は、記録し情報共有している。

施設全体総評

利用定員を超えることなく十分なスタッフの配置の元に支援を行う事が出来た。時間帯や活動によっては、スタッフの手が足りないと感じることもあり、今後スタッフの増員も検討していく。療育スペースに関しては、十分な確保が出来、子供達も伸び伸びと活動を行う事が出来ている。プログラムを固定している部分もあるが、変更や楽しめるような活動を入れているが、子供達にとっては、物足りなさもあるようである。これから、子供達が主体となり、楽しく遊び学べる活動をプログラムに入れていく。保護者の相談へは、適宜迅速に受け入れられるよう体制を整えている。保護者の会など、保護者間での連携をどのように支援するか課題である。また、地域との関り面で、買い物訓練や公園遊びなどで外に出ることがあるが、地域の方や保育所や学童等とも関わる時間も設けられるようする。

これからのCOLORが、子供達・保護者が安心して楽しめ、地域との活動が活発になるよう施設を活性化させていきたい。それぞれの個性COLORを活かして取り組みます。

令和2年3月15日

施設長 野島